

ニュースリリース

2024年11月7日
株式会社ジャパントイムズ

ジャパントイムズが世界新聞協会の アジア・メディア・アワード 2024 にて金賞を受賞

株式会社ジャパントイムズ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：末松弥奈子）は、2024年11月に発表された世界新聞協会（WAN-IFRA）のアジア・メディア・アワード 2024 において、ベスト・イン・ヘルスケア・リポーター部門の金賞を受賞しました。

ベスト・イン・ヘルスケア・リポーター賞：

[Young doctor's suicide highlights overwork culture at Japan hospitals](#)

編集局長の横田孝は、今回の受賞について次のようにコメントしました：『医療・サイエンス担当の小竹記者の取材が高く評価されたことを嬉しく思います。日本の医療従事者が置かれている過酷な状況に光を当てた記事が国内外でも注目されたことでこの問題をめぐる議論が進むことを願っています。』

小竹朝子記者は、次のように語っています。『この度は私の記事を評価していただき、大変ありがたく思っています。この記事では、ある若い医師の過労死の背後にある日本の医療システムの問題に焦点を当てました。働き方改革で医師の残業に上限規制が導入されたとはいえ、一般的な労働水準に比べると依然として信じられないほどの長時間労働が許されています。この問題は医師の健康のみならず、私たちが受ける医療の安全性を脅かす問題でもあると感じています。』

受賞者は11月6日にシンガポールで発表されました。

世界新聞協会（WAN-IFRA）について

世界新聞協会（WAN-IFRA）は、約3,000のニュース出版社とテクノロジー企業からなる、ジャーナリストと出版社の権利を守るための国際的な組織です。

<https://wan-ifra.org/events/asian-media-awards/>

The Japan Times（ジャパントイムズ）について

The Japan Times は、1897年（明治30年）に創刊された、日本で最も歴史のある英字新聞です。1996年にホームページを開設。現在はソーシャルメディアも活用し、日本のいま、そして未来を、世界に向けて発信しています。読者は、国内在住の外国人に加えて、世界各国の政府高官やシンクタンクはもちろん、各国のメディアにも日本に関する信頼できる情報ソースとして活用されています。過去のアーカイブは、海外の大学や公立の図書館などで、日本やアジアの歴史研究に活用されています。

本件に関する問い合わせ先
株式会社ジャパントイムズ
<プレス関係の問い合わせ>
担当：広報 熊野
E-mail: pr@japantimes.co.jp